

演習問題 A

1 〈名詞的用法(目的語)〉次の日本語の意味を表すように、空所に適語を書きなさい。

➡ ① ②

□(1) 私はサッカーをすることが好きです。

I like _____ soccer.

□(2) ボブは写真を撮ることが好きです。

Bob likes _____ pictures.

□(3) 私たちはこの CD を聞きたいです。

We want _____ to this CD.

□(4) 由美はケーキを作りたいと思っています。

Yumi wants _____ a cake.

□(5) スミスさんはこの公園を歩くのが好きでした。

Mr. Smith _____ in this park.

□(6) ナンシーは買い物に行きたかったです。

Nancy _____ shopping.

2 〈名詞的用法(目的語)〉次の英文を日本語にきなさい。

➡ ① ②

□(1) I want to eat this apple.

私はこのりんごを _____。

□(2) Keiko likes to play the piano.

けい子はピアノを _____。

□(3) They started to clean the park.

彼らは公園を _____。

□(4) Ken tried to speak English.

健は英語を _____。

□(5) We hope to see Ms. Green again.

私たちはもう一度グリーン先生に _____。

3 〈名詞的用法(主語・補語)〉次の日本語に合うように()内の語(句)を並べかえて、正しい英文にきなさい。

➡ ③ ④

□(1) 本を読むことは大切です。(read / to / books) is important.

_____ is important.

□(2) バスを運転することが私の父の仕事です。(bus / to / a / drive) is my father's job.

_____ is my father's job.

□(3) トムの夢は日本を訪れることです。 Tom's dream is (Japan / visit / to).

Tom's dream is _____.

□(4) 私の夢は警察官になることです。 My dream is (be / police officer / to / a).

My dream is _____.

□(5) 私の姉の仕事は英語を教えることです。 My sister's work (teach / is / English / to).

My sister's work _____.

22 不定詞(2) 形容詞的用法

■〈to + 動詞の原形〉を不定詞といい、名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法の3つの用法がある。

1 形容詞的用法

① I have a lot of things to do.

私はすべきことがたくさんあります。

② I have no time to play.

私には遊ぶ時間がありません。

①②形容詞的用法 不定詞は形容詞の働きをして、名詞や代名詞を後ろから修飾する。「～する(ための)」
「～すべき」などの意味になる。

I have a book. (私は本を持っています。)

I have a book **to read**. (私は読むべき本を持っています。)

I have no time **to play**. (私には遊ぶ時間がありません。)

2 something など + 不定詞 / 前置詞のつく不定詞

③ I want something hot to drink.

私は何か熱い飲み物が欲しいです。

④ They need a house to live in.

彼らは住むための家が必要です。

③ something など + 不定詞 something, anything, nothing など -thing で終わる語を修飾する場合は、語順に注意する。something hot to drink (何か熱い飲み物)のように、〈～**thing** + 形容詞 + 不定詞〉の語順になる。

比較 I want something **to drink**. (私は何か飲み物が欲しい。)

I want something **hot to drink**. (私は何か熱い飲み物が欲しい。)

④ 前置詞のつく不定詞 〈不定詞 + 前置詞〉の形で名詞を後ろから修飾する。

They need a house **to live in**. (彼らは住むための家[住む家]が必要です。)

We have a lot of things **to talk about**. (私たちは話すべきこと[話すこと]がたくさんあります。)

live in ～, talk about ～は、それぞれひとまとまりで「～に住む」「～について話す」という意味なので、in や about は省略できない。

不定詞の3用法のまとめ

用 法	意 味	例 文
名詞的用法	「～すること」	I like to study English. (私は英語を勉強することが好きです。) To play tennis is fun. (テニスをするのは楽しい。) My dream is to be a singer. (私の夢は歌手になることです。)
副詞的用法	「～するために」(目的) 「～して」(原因・理由)	I went to the sea to swim . (私は海に泳ぎに行きました。) She was glad to see him. (彼女は彼に会えてうれしかったです。)
形容詞的用法	「～する(ための)」 「～すべき」など	He has a book to read . (彼は読む本を持っています。) I want something to eat . (私は何か食べ物が欲しい。)

演習問題 A

1 〈形容詞的用法〉次の日本語の意味を表すように、空所に適語を書きなさい。

➡ 1 2

□(1) 私は書くべき手紙があります。

I have a letter _____.

□(2) トムはするべきことがたくさんあります。

Tom has a lot of things _____.

□(3) 京都には見るべき場所がたくさんあります。

There are many places _____ in Kyoto.

□(4) あなたは朝食を食べる時間がありますか。

Do you have time _____ breakfast?

□(5) 私たちはあなたにたずねたい質問があります。

We have a question _____ you.

□(6) 健はその CD を買うお金を持っていませんでした。

Ken had no money _____ the CD.

2 〈形容詞的用法〉次の日本語に合うように()内の語(句)を並べかえて、正しい英文にきなさい。➡ 1 2

□(1) 父はすべき仕事がたくさんあります。 My father has a lot of (do / work / to).

My father has a lot of _____.

□(2) 私はあなたに見せたい写真があります。 I have a picture (you / to / show).

I have a picture _____.

□(3) 奈良には訪れるべき場所がたくさんあります。 Nara has (to / many / visit / places).

Nara has _____.

□(4) 私は私を手伝ってくれる人が何人か必要です。 I need (help / some people / me / to).

I need _____.

□(5) 彼女は料理をする時間がありませんでした。 She had (time / cook / no / to).

She had _____.

3 〈something など+不定詞 / 前置詞のつく不定詞〉下線部に注意して、次の英文を日本語にきなさい。

➡ 3 4

□(1) Tom wants something to read.

トムは _____ を欲しがっています。

□(2) Do you have anything to say?

あなたは _____ がありますか。

□(3) Beth wanted something cold to drink.

ベスは _____ が欲しかったです。

□(4) He needs a room to study in.

彼は _____ が必要です。

□(5) The man has no friends to talk with.

その男の人は _____ がいません。

21 不定詞(1) 名詞的用法

■〈to+動詞の原形〉を不定詞といい、名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法の3つの用法がある。

不定詞は、主語や時制が何であっても形は変わらない。

1 名詞的用法：目的語になる

① I like to play baseball.

私は野球をすることが好きです。

② Yumi wants to be a teacher.

由美は先生になりたいと思っています。

1 2 名詞的用法 名詞的用法の不定詞は「～すること」という意味を表し、名詞と同じ働きをする。動詞の目的語に使われる。

比較 I like baseball. (私は野球が好きです。)

名詞「野球」が目的語

I like to play baseball. (私は野球をすることが好きです。)

「野球をすること」が目的語

よく使われる〈動詞+不定詞〉の表現

want to ~ (～したい)	I want to be a good soccer player. (私はじょうずなサッカー選手になりたいです。)
like to ~ (～するのが好きだ)	He likes to run in the park. (彼は公園で走るのが好きです。)
begin to ~, start to ~ (～し始める)	It will begin to rain this afternoon. (今日の午後、雨が降り始めるでしょう。)
try to ~ (～しようとする)	Did you try to answer the question? (あなたはその質問に答えようとしてましたか。)
hope to ~ (～することを望む)	We hope to see you again. (私たちはもう一度あなたに会うことを望んでいます。)
decide to ~ (～することを決める)	He decided to be a doctor. (彼は医者になることを決心しました。)

●would like to ~ 「(できれば)～したいのですが」。want to ~ よりもていねいな表現。I would の短縮形は I'd。

2 名詞的用法：主語・補語になる

③ To study English is important.

英語を勉強することは大切です。

④ My dream is to be a singer.

私の夢は歌手になることです。

3 4 名詞的用法：主語・補語 名詞的用法の不定詞は、文の主語(③)や補語(④)に用いられることもある。

To see is to believe. (見ることは信じることである[百聞は一見にしかず]。)

↑ 主語 ↑ 補語

注意 主語になる不定詞は、つねに単数扱い。

To have good friends is important. (よい友だちを持つことは大切です。)

↑ friends につられて are にしないこと。

●不定詞の否定 not to ~ の形で「～しないよう…」という意味を表す。

He told me not to open the window. (彼は私に窓を開けないように言いました。)

演習問題 A

1 〈Shall I ~? / Shall we ~?〉 次の日本語に合うように、空所に適語を書きなさい。

➡ 1 2

□(1) いっしょにその野球の試合を見ましょうか。

_____ watch the baseball game?

□(2) (私が)あなたを手伝いましょうか。

_____ help you?

□(3) サッカーをしませんか。

_____ we _____ soccer?

□(4) あなたに昼食を作りましょうか。

_____ make lunch for you?

□(5) ドアを閉めましょうか。—— はい、お願いします。

_____ close the door?

—— Yes, _____.

2 〈Will you ~?〉 次の英文の日本語訳を完成させなさい。

➡ 3 4

□(1) Will you come here?

こちらに _____。

□(2) Will you have lunch with us?

私たちといっしょに昼食を _____。

□(3) Will you open that box?

あの箱を _____。

□(4) Will you play tennis with us?

私たちといっしょに _____。

□(5) Would you clean this room?

この部屋を _____。

□(6) Won't you have some fruit?

果物は _____。

3 〈Shall I ~? / Shall we ~? / Will you ~?〉 次の日本語に合うように、次の()内から適するものを選び、書きなさい。

➡ 1 2 4

□(1) いっしょに宿題をしましょうか。

(Shall I / Shall we / Will you) do the homework?

□(2) 公園を歩きませんか。

(Shall I / Shall we / Could you) walk in the park?

□(3) (私が)お皿を洗いましょうか。

(Shall I / Shall we / Will you) wash the dishes?

□(4) アイスクリームはいかがですか。

(Shall I / Could you / Won't you) have some ice cream?

23 不定詞(3) 副詞的用法

■ 〈to + 動詞の原形〉を不定詞といい、名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法の3つの用法がある。

不定詞は、主語や時制が何であっても形は変わらない。

1 副詞的用法：目的を表す

① I went to the park **to play** soccer.

私はサッカーをするために公園へ行きました。

② Why did you get up early?

なぜあなたは早起きしたのですか。

—— **To do** my homework.

—— 宿題をするためです。

① 副詞的用法：「目的」 「～するために」(目的)という意味で動詞を修飾し、副詞と同じ働きをする。

I went to the park **to play** soccer. (サッカーをするために → 行った)

She came **to see** me. (彼女は私に会うために来ました[会いに来ました]。)

He studied hard **to pass** the exam. (彼は試験に合格するために一生懸命勉強しました。)

② Why ~? と To ~. Why ~?(なぜ～)の疑問文に対して、To ~.(～するために)を使って目的を答えることがある。

Why did you go to the station? (なぜあなたは駅へ行ったのですか。)

—— **To meet** my uncle. (おじに会うためです。)

2 副詞的用法：感情の原因・理由を表す

③ I am glad **to meet** you.

私はあなたに会えてうれしいです。

④ I was surprised **to hear** the news.

私はその知らせを聞いて驚きました。

③④感情の原因・理由を表す不定詞

副詞的用法の不定詞は、感情を表す形容詞のあとにきて、感情の「原因・理由」を表す。「～して」という意味になる。

I am glad **to meet** you. (あなたに会えて → うれしい)

I was surprised **to hear** the news. (その知らせを聞いて → 驚いた)

感情の原因・理由を表す不定詞の例

be glad to ~ (～してうれしい)

be sorry to ~ (～して残念に[申し訳なく]思う)

be happy to ~ (～してうれしい)

be surprised to ~ (～して驚く)

be sad to ~ (～して悲しい)

I'm sad **to hear** that. (それを聞いて → 悲しい)

I was sorry **to hear** the news. (その知らせを聞いて → 残念に思った)

演習問題 A

1 副詞的用法(目的) 次の日本語の意味を表すように、空所に適語を書きなさい。

➡ 1 2

- (1) 私たちはテニスをするために公園へ行きました。

We went to the park _____ tennis.

- (2) 健はおじいさんに会うためによく横浜に行きます。

Ken often goes to Yokohama _____ his grandfather.

- (3) グリーン先生は英語を教えるために日本に来ました。

Ms. Green came to Japan _____ English.

- (4) 私の母は病気の人を助けるために働いています。

My mother works _____ sick people.

- (5) 久美はテレビを見るために早く家に帰りました。

Kumi came home early _____ TV.

- (6) なぜあなたは6時に起きたのですか。—— 朝食を作るためです。

Why did you get up at six? ——— breakfast.

2 副詞的用法(目的) 下線部に注意して、次の英文を日本語にきなさい。

➡ 1 2

- (1) Bob went to the library to study science.

ボブは科学を _____ 図書館へ行きました。

- (2) Mr. Brown worked hard to buy a house.

ブラウンさんは _____ 一生懸命に働きました。

- (3) Ken visited the garden to take pictures.

健は _____ その庭園を訪れました。

- (4) My brother studies hard to be a doctor.

私の兄は _____ 一生懸命勉強しています。

- (5) Why did Taro come here? — To help us.

太郎はなぜここに来たのですか。—— _____

3 副詞的用法(原因・理由) 次の日本語に合うように()内の語(句)を並べかえて、正しい英文にきなさい。

➡ 3 4

- (1) 私はあなたがたに会えてうれしい。 I am (see / happy / you / to).

I am _____.

- (2) 私たちは彼のことが聞いて残念です。 We are (to / sorry / his words / hear).

We are _____.

- (3) けい子はその手紙を読んで悲しかったです。 Keiko was (the letter / to / sad / read).

Keiko was _____.

- (4) 私はナンシーと話ができてうれしかったです。 I was (to / Nancy / talk with / glad).

I was _____.

- (5) 彼らはそのニュースを知って驚きました。 They were (know / surprised / to / the news).

They were _____.

19 助動詞(5) Shall I ~? / Will you ~?

1 Shall I ~? / Shall we ~?

- ① Shall I open the window?

窓を開けましょうか。

- ② Shall we go to the library?

図書館に行きませんか。

① Shall I ~? 「(私が)~しましょうか」の意味で、申し出る表現。

《頼むときの答え》 Yes, please. など。

《頼まないときの答え》 No, thank you. など。

② Shall we ~? 「(いっしょに)~しましょうか」「~しませんか」の意味で、相手を誘う表現。

Shall we ~? と Let's ~. は、ほぼ同じ内容を表す。

Shall we go to the library? = Let's go to the library.

《応じるときの答え》 Yes, let's. など。

《断るときの答え》 No, let's not. など。

2 Will you ~?

- ③ Will you open the window?

窓を開けてくれませんか。

- ④ Will you join our club?

私たちのクラブに加わりませんか。

③ Would[Could] you ~? は、Will[Can] you ~? よりもよりていねいな言い方になる。

答え方は Can you ~? のときと同じ。(15「助動詞(1) can / be able to」⑤参照)

Will[Can / Would / Could] you ~? は相手の意思を確認することから、Please ~. よりも少していねいな言い方になる。

Will you open the window? (窓を開けてくれませんか。)

Please open the window. (窓を開けてください。)

④ Will you ~? 「~しませんか」(勧誘), 「~はいかがですか」の意味でも使う。(= Won't you ~?)

Will you join our club? = Won't you join our club? (私たちのクラブに入りませんか。)

Will you have some tea? = Won't you have some tea? (お茶はいかがですか。)

演習問題 A

1 〈助動詞の過去形〉次の英文を過去の文に書きかえるとき、空所に適語を書きなさい。

➡ 1 2

□(1) She is able to play the piano.

She _____ to play the piano.

□(2) They are able to meet again.

They _____ to meet again.

□(3) Are you able to swim in the river?

_____ you _____ to swim in the river?

□(4) I'm not able to pass the test.

I _____ to pass the test.

□(5) I have to sing the song.

I _____ sing the song.

□(6) Miki has to help her father.

Miki _____ help her father.

□(7) Do you have to clean your room?

_____ you _____ to clean your room?

□(8) Does Tom have to speak Japanese?

_____ Tom _____ to speak Japanese?

□(9) We don't have to stay home.

We _____ to stay home.

□(10) He can play *shogi*.

He _____ *shogi*.

□(11) Bob must use the old computer.

Bob _____ use the old computer.

2 〈助動詞の過去形〉次の日本文に合うように、空所に適語を書きなさい。

➡ 1 2

□(1) 彼はきのう、宿題を終えることができませんでした。

He _____ to finish his homework yesterday.

□(2) 彼らは始発電車に乗ることができましたか。

_____ they _____ to take the first train?

□(3) 私の父は若いとき、サッカーがじょうずにできました。

My father _____ to play soccer well when he was young.

□(4) 美佳は昨夜、夕食を作らなければならませんでした。

Mika _____ make dinner yesterday evening.

□(5) あなたはそのパーティーで写真を撮らなければならなかったのですか。

_____ you _____ to take pictures at the party?

□(6) 私たちはこの前の水曜日、学校に行く必要はありませんでした。

We _____ go to school last Wednesday.

24 動名詞

1 動名詞

① I like **playing** soccer.

私はサッカーをすることが好きです。

② **Playing** soccer is fun.

サッカーをすることは楽しいです。

③ My hobby is **taking** pictures.

私の趣味は写真を撮ることです。

●動名詞の形と意味 「～すること」という意味を表す〈動詞の～ing 形〉を動名詞という。動名詞は名詞と同じ働きをし、文中で目的語・主語・補語になる。

①目的語 I like **playing** soccer. (私はサッカーをすることが好きです。)

「サッカーをすること」

②主語 **Reading** books is a lot of fun. (本を読むことはとても楽しい。)

「本を読むこと」 ↑ 3人称・単数として扱うので注意。

③補語 My hobby is **taking** pictures. (私の趣味は写真を撮ることです。)

「写真を撮ること」*進行形と区別する。He is taking a picture. (彼は写真を撮っています。)

2 動名詞と不定詞

④ We enjoyed **playing** tennis.

私たちはテニスをして楽しみました。

⑤ He wanted to **play** tennis.

彼はテニスをしたがっていませんでした。

⑥ I like **playing** tennis. = I like to **play** tennis. 私はテニスをするのが好きです。

④⑤⑥動名詞と不定詞

動名詞と不定詞は「～すること」の意味を表し、動詞の目的語になる。しかし、動詞によっては、どちらか一方しか目的語にとることができないので注意する。

④ 動名詞だけを目的語にとる動詞 : enjoy, finish(終える), stop(やめる)など

⑤ 不定詞だけを目的語にとる動詞 : want, hope(希望する), decide(決心する)など

⑥ 動名詞と不定詞の両方を目的語にとる動詞 : like, begin(始める), start(始める)など

●stop to ～と stop ～ing

They stopped to talk. (彼らは話すために立ち止まりました。) stop to ～(～するために立ち止まる)

They stopped talking. (彼らは話すのをやめました。) stop ～ing(～するのをやめる)

... 演習問題 A ...

1 動名詞(動詞の目的語) 次の()内の語を1語の適する形にかえて、空所に書きなさい。

➡ 1

□(1) 私はテレビを見ることが好きです。

I like _____ TV. (watch)

□(2) 私の姉は歌を歌って楽しめます。

My sister enjoys _____ songs. (sing)

□(3) 彼らは教室をそうじし終えました。

They finished _____ the classroom. (clean)

□(4) 私たちは5時に夕食を作り始めました。

We began _____ dinner at five o'clock. (cook)

□(5) スミスさんは手紙を書くのをやめました。

Mr. Smith stopped _____ a letter. (write)

□(6) その少年は犬といっしょに走りだしました。

The boy started _____ with a dog. (run)

2 動名詞(主語, 補語) 次の日本文の意味を表すように、空所に適語を書きなさい。

➡ 2 3

□(1) 次郎の趣味はギターを弾くことです。

Jiro's hobby is _____ the guitar.

□(2) 私の仕事は数学を教えることです。

My job is _____ math.

□(3) 英語を勉強することは大切です。

_____ English is important.

□(4) ボブと話すことはとても楽しい。

_____ with Bob is a lot of fun.

3 動名詞と不定詞 次の()内から適する語(句)を選び、空所に書きなさい。

➡ 4 5 6

□(1) Taro wants (eating / to eat) a hamburger.

□(2) We enjoyed (walking / to walk) in the park.

□(3) My father finished (reading / to read) today's newspaper.

□(4) Nancy decided (joining / to join) the tennis club.

□(5) They hope (seeing / to see) you in Japan.

□(6) It stopped (raining / to rain) this morning.

18 助動詞(4) 過去形と助動詞

1 be able to の過去形

① He **was able to** swim across the river. 彼は川を泳いで渡ることができました。

① be able to の過去形 **was[were] able to** で表す。was と were は、主語によって使い分ける。

比較 He **could** speak French. (彼はフランス語を話すことができました。)
主語が何であっても形はかわらない

He **was able to** speak French. (彼はフランス語を話すことができました。)
主語にあわせる

参考 could は「したいと思うときにはいつでもできる能力があった」というときに、一方 was[were] able to は「そのときにすることができた」というときに用いられることが多い。

2 have[has] to の過去形

② He **had to** do his homework. 彼は宿題をしなければならませんでした。

② have[has] to の過去形 **had to** で表す。「～しなければならない」の意味を表す助動詞 must には過去形がないので、「～しなかった」いうときは had to を用いる。

●●● 演習問題 A ●●●

1 〈may〉 次の日本語に合うように、空所に適語を書きなさい。

➡ 1 2

□(1) あなたはこのペンを使ってもいいですよ。

You _____ use this pen.

□(2) この公園では野球をしてもかまいません。

You _____ baseball in this park.

□(3) 生徒は自転車で学校に来てもかまいません。

Students _____ to school by bike.

□(4) トムは今日、ここに来るかもしれません。

Tom _____ here today.

□(5) あの女の人はケイトのお母さんかもしれません。

That woman _____ Kate's mother.

□(6) 彼らは今週末、サッカーをしないかもしれません。

They _____ soccer this weekend.

2 〈May I ~?〉 次の日本語に合うように、次の()内から適する語(句)を選び、書きなさい。

➡ 3

□(1) あなたの自転車を使ってもいいですか。

(Do / Will / May) I use your bike?

□(2) もう家に帰ってもいいですか。

(May / Must / Do) I go home now?

□(3) 新しいかばんを買ってもいいですか。

(Do / May / Must) I buy a new bag?

□(4) 今、お話ししてもいいですか。

(Can you / Must I / May I) talk to you now?

3 〈may〉 次の英文の日本語訳を完成させなさい。

➡ 1 2 3

□(1) You may watch TV after dinner, Tom.

トム、夕食後にテレビを _____。

□(2) Ryota may visit us tomorrow.

亮太は明日、私たちを _____。

□(3) Mr. Tanaka may be very busy now.

田中先生は今、とても _____。

□(4) May I listen to the radio now? — Sure.

今、ラジオを _____。

□(5) May I take a picture here? — I'm sorry, but you can't.

ここで写真を _____。

解 答

17

助動詞 (3) may

1 may

① You **may** go home now.

もう帰宅してもよろしい。

② It **may** rain at night.

夜、雨が降るかもしれません。

③ **May** I use your dictionary?

あなたの辞書を使ってもいいですか。

—— Sure. / I'm sorry. I'm using it.

—— いいですよ。 / すみません、使っています。

①②**may** 「～してもよい」(許可)と「～かもしれない」(推量)の意味を表す。

③**May I ~?** 「～してもよいですか」(許可)の意味を表す。答え方は Can I ~? のときと同じ。(「15 助動詞(1) can / be able to」④参照)

注意 Yes, you may. / No, you may not. のように may で答えると相手に失礼になることがある。許可をもらう場合は、May I ~? は、Can I ~? よりもていねいな表現である。

許可を与える場合は、You may は命令に近い表現となり、You can のほうがやわらかい表現となる。

《否定》You **may not** eat here. (あなたはここで食べてはいけません。)

may not は許可の否定「～してはいけない」を表す。より強い禁止を表す場合は、must not を用いる。

比較

may と must

	許可か義務か	推量の程度
may	～してもよい(許可)	～かもしれない
must	～しなければならない(義務)	～にちがいない

演習問題A

1 <must> 次の英文を、()内の意味を加えた文に書きかえるとき、空所に適語を書きなさい。

➡ 1 2 3

- (1) Ken does his homework. (～しなければならない)
Ken _____ his homework.
- (2) Mike is a good student. (～にちがいない)
Mike _____ a good student.
- (3) Do I clean this room today? (～しなければなりませんか)
_____ I _____ this room today?
- (4) You don't open the window. (～してはいけない)
You _____ open the window.

2 <have[has] to ~> 次の日本語に合うように、空所に適語を書きなさい。

➡ 4 5

- (1) 明は英語を勉強しなければなりません。
Akira _____ to _____ English.
- (2) 私たちは毎日サッカーを練習しなければならませんでした。
We _____ practice soccer every day.
- (3) 私はこの本を読まなければなりませんか。
_____ I _____ read this book?
- (4) あなたはここに名前を書く必要はありません。
You _____ write your name here.

3 <mustとhave[has] to ~> 次の各組の文がほぼ同じ意味になるように、空所に適語を書きなさい。

➡ 1 4 5

- (1) { I have to stay home this afternoon.
I _____ stay home this afternoon.
- (2) { Keiko must get up at six.
Keiko _____ up at six.
- (3) { Must we clean the classroom?
_____ we _____ clean the classroom?

4 <mustとhave[has] to ~> 次の日本語に合うように、()内から適するものを選び、書きなさい。

➡ 2 3 5

- (1) 恵子は今、ひまにちがいありません。
Keiko (have to / has to / must) be free now. _____
- (2) 彼らは英語を話す必要はありません。
They (must not / don't have to / doesn't have to) speak English. _____
- (3) あなたはこのカップを使ってはいけません。
You (must not / don't have to / doesn't have to) use this cup. _____

15 助動詞(1) can / be able to

演習問題A

- 1 (1) can
(2) can, play
(3) can, eat
(4) can't[cannot], speak
(5) could, play
(6) couldn't, walk
(7) Can, sing

- 2 (1) is, able, to
(2) am, able, to
(3) are, able, to
(4) Are, able, to
(5) weren't, able, to

- 3 (1) 弾いてくれませんか
(2) 食べてもよいですか
(3) 洗っていただけませんか
(4) 本当であるはずがありません

解説 1 (7) 「～することができますか」は can の疑問文。<Can + 主語 + 動詞の原形 ~?>の形にする。

- 2 (4) be able to ~の疑問文は be 動詞で文を始める。

16 助動詞(2) must / have to

演習問題A

- 1 (1) must, do
(2) must, be
(3) Must, clean
(4) must, not
- 2 (1) has, study
(2) had, to
(3) Do, have, to
(4) don't, have, to

- 3 (1) must
(2) has, to, get
(3) Do, have, to

- 4 (1) must
(2) don't have to
(3) must not

解説 1 (3) 「～しなければなりませんか」は、助動詞 must を使う場合は Must I ~? で表す。

(4) must not 「～してはいけない」

2 (2) 「～しなければならなかった」という過去の義務を表すには had to ~を用いる。

(3) 「～しなければなりませんか」を have to ~を用いて表すときは、Do[Does]で文を始める。

(4) don't[doesn't] have to ~「～する必要はない」

4 (1) have[has] to ~には「～にちがいない」という意味はない。

17 助動詞(3) may

演習問題A

- 1 (1) may[can]
(2) may[can], play
(3) may[can], come
(4) may, come
(5) may, be
(6) may, not, play

- 2 (1) May
(2) May
(3) May
(4) May I

- 3 (1) 見てもよいです
(2) 訪ねるかもしれません
(3) 忙しいかもしれません
(4) 聞いてもいいですか
—— もちろんです。
(5) 撮ってもいいですか
—— すみませんが、だめです。

解説 1 「～してもよい」という意味の may は can で表すことができるが、「～かもしれない」という意味の may は can では表すことができない。

(6) 「～しないかもしれない」は may を否定文にして may not とする。

3 (4)(5) May I ~? は「～してもよいですか」と許可を求める表現。Sure. は相手に許可する表現で、I'm sorry, but you can't. は許可しない表現。

18 助動詞(4) 過去形と助動詞

◆演習問題A◆

- 1 (1) was, able
(2) were, able
(3) Were, able
(4) wasn't, able
(5) had, to
(6) had, to
(7) Did, have
(8) Did, have
(9) didn't, have
(10) could, play
(11) had, to
- 2 (1) wasn't, able
(2) Were, able
(3) was, able
(4) had, to
(5) Did, have
(6) didn't, have, to

解説 1 (1)~(4) be able to ~の過去の文は was [were] able to ~で表す。疑問文は was[were] を前に出し、否定文は was[were]のあとに not を置く。

- (5)~(9) have[has] to ~の過去の文は had to ~で表す。疑問文は〈Did + 主語 + have to ~?〉、否定文は didn't[did not] have to ~となる。
- (10) can の過去形は could。
- (11) must には過去形がないので、had to を用いる。
- 2 (6) 「~する必要はなかった」didn't[did not] have to ~

19 助動詞(5) Shall I ~? / Will you ~?

◆演習問題A◆

- 1 (1) Shall, we
(2) Shall, I
(3) Shall, play
(4) Shall, I
(5) Shall, I, please
- 2 (1) 来てくれませんか
(2) 食べませんか
(3) 開けてくれませんか

- (4) テニスをしませんか
(5) そうじしていただけませんか
(6) いかがですか

- 3 (1) Shall we
(2) Shall we
(3) Shall I
(4) Won't you

解説 1 (1)(3) 「(いっしょに)~しましょうか」「~しませんか」と相手を誘う表現は Shall we ~? を用いる。

(2)(4)(5) 「(私が)~しましょうか」と申し出る表現は Shall I ~? を用いる。

(5) 「はい、お願いします」は Yes, please. で表す。

2 Will you ~? には「~してくれませんか」(依頼), 「~しませんか」(勧誘), 「~はいかがですか」の意味がある。どの意味になるかは、内容から判断して適切なものを選ぶ。

(5) Would you ~? は、Will[Won't] you ~? よりもよりていねいな表現。

3 (4) 「~はいかがですか」は Won't you ~? でも表す。

21 不定詞(1) 名詞的用法

◆演習問題A◆

- 1 (1) to, play (2) to, take
(3) to, listen (4) to, make
(5) liked, to, walk (6) wanted, to, go
- 2 (1) 食べたいです (2) 弾くことが好きです
(3) そうじし始めました
(4) 話そうと(努力)しました
(5) 会いたいです
- 3 (1) To read books (2) To drive a bus
(3) to visit Japan
(4) to be a police officer
(5) is to teach English

解説 1 (1)(2)(5) 「~すること[するの]が好きだ」は〈like to + 動詞の原形〉で表す。

(3)(4)(6) 「~したい」は〈want to + 動詞の原形〉。

2 (3) start to ~は「~し始める」。

(4) try to ~は「~しようとする[努める]」。

(5) hope to ~は「~することを望む[したい]」。

3 (1)(2) 不定詞〈to + 動詞の原形〉が文の主語。

(3)~(5) 不定詞が文の補語になる。

16 助動詞(2) must / have to

1 must

- 1 You **must** do your homework. あなたは宿題をしなければなりません。
- 2 Ken **must** be busy. 健は忙しいにちがいありません。
- 3 You **must not** swim in this river. この川で泳いではいけません。

1,2 **must** 「~しなければならない」(義務)と「~にちがいない」(推量)の意味を表す。

3 **must not** 「~してはいけない」(強い禁止)。must not の短縮形は **mustn't**。発音 [məsnt] に注意。must の疑問文は〈**Must** + 主語 + 動詞の原形 ~?〉で表す。「~しなければなりませんか」という意味。

2 have[has] to ~

- 4 You **have to** do your homework. あなたは宿題をしなければなりません。
- 5 You **don't have to** wash the dishes. あなたはお皿を洗う必要はありません。

4 **have[has] to ~** 「~しなければならない」という意味を表す。義務の意味の **must** とほぼ同意になる。have to は主語が3人称・単数のとき、has to になる。

比較 He **must** study. (彼は勉強しなければなりません。)

He **has to** study. (彼は勉強しなければなりません。)
主語にあわせる

注意 過去の文では **had to ~** を、未来の文では **will have to ~** を用いる。

5 **don't[doesn't] have to ~** 「~する必要はない」という意味を表す。must not との意味の違いに注意。

have[has] to の疑問文は〈**Do[Does]** + 主語 + **have to** + 動詞の原形 ~?〉で表す。「~しなければなりませんか」という意味になる。

注意 〈**Must** + 主語 + 動詞の原形 ~?〉や〈**Do[Does]** + 主語 + **have to** + 動詞の原形 ~?〉「~しなければなりませんか」の疑問文に No で答えるときは、**don't[doesn't] have to** を用いる。

Must I do the work? (私はその仕事をしなければなりませんか。)

— Yes, you **must**. (はい、しなければなりません。)

— No, you **don't have to**. (いいえ、する必要はありません。)

Do I have to do the work? (私はその仕事をしなければなりませんか。)

— Yes, you **do**. (はい、しなければなりません。)

— No, you **don't (have to)**. (いいえ、する必要はありません。)

注意 助動詞 **need** も「~する必要がある」という意味を表し、主に疑問文・否定文で用いられる。

You **need not** go there. (あなたはそこに行く必要はありません。)

Need I go there? (私はそこに行く必要がありますか。)

— Yes, you **need**. (はい、必要があります。)

— No, you **need not[don't have to]**. (いいえ、その必要はありません。)

演習問題 A

1 <can・could> 次の英文を、()内の意味を加えた文に書きかえるとき、空所に適語を書きなさい。

□(1) I make *sukiyaki*. (～することができる)

I _____ make *sukiyaki*.

□(2) Tom plays the guitar. (～することができる)

Tom _____ the guitar.

□(3) You eat this cake. (～してもよい)

You _____ this cake.

□(4) Miki doesn't speak English. (～することができない)

Miki _____ English.

□(5) They played soccer very well. (～することができた)

They _____ soccer very well.

□(6) She didn't walk fast. (～することができなかった)

She _____ fast.

□(7) Does Mary sing well? (～することができるか)

_____ Mary _____ well?

2 <be able to> 次の英文を()内の指示にしたがって書きかえるとき、空所に適語を書きなさい。

□(1) Jim can swim. (be able to を用いてほぼ同じ意味の文に)

Jim _____ swim.

□(2) I can play the piano. (be able to を用いてほぼ同じ意味の文に)

I _____ play the piano.

□(3) We can speak English well. (be able to を用いてほぼ同じ意味の文に)

We _____ speak English well.

□(4) They are able to take a taxi. (疑問文に)

_____ they _____ take a taxi?

□(5) Miki and her brother couldn't catch any fish. (be able to を用いてほぼ同じ意味の文に)

Miki and her brother _____ catch any fish.

3 <can の注意すべき用法> 次の英文の日本語訳を完成させなさい。

□(1) Can you play the piano for me?

私のためにピアノを _____。

□(2) Can I eat this cake?

このケーキを _____。

□(3) Could you wash this cup?

このカップを _____。

□(4) His story cannot be true.

彼の話は _____。

22 不定詞(2) 形容詞的用法

演習問題 A

1 (1) to, write (2) to, do

(3) to, see (4) to, have[eat]

(5) to, ask (6) to, buy

2 (1) work to do (2) to show you

(3) many places to visit

(4) some people to help me

(5) no time to cook

3 (1) 何か読むもの

(2) 何か言う(べき)こと

(3) 何か冷たい飲み物

(4) 勉強するための部屋

(5) 話をする[話し相手になる]友だち

解説 1 次の部分を<to + 動詞の原形>で表す。

(1) 「書くべき」, (2) 「するべき」, (3) 「見るべき」,
(4) 「食べる」, (5) 「たずねたい」, (6) 「買う」

2 (3)(4)(5) many, some, no などの形容詞は名詞の前に、不定詞<to + 動詞の原形>は名詞のあとに置く。

3 (3) <something + 形容詞(cold) + 不定詞>の語順にも注意する。

(4) study in a room(部屋で勉強する)という関係なので、a room to study in と in が必要になる。

(5) talk with (no) friends という関係。

23 不定詞(3) 副詞的用法

演習問題 A

1 (1) to, play (2) to, see[meet]

(3) to, teach (4) to, help

(5) to, watch (6) To, make[cook]

2 (1) 勉強するために (2) 家を買うために

(3) 写真を撮るために (4) 医者になるために

(5) 私たちを手伝うためです。

3 (1) happy to see you

(2) sorry to hear his words

(3) sad to read the letter

(4) glad to talk with Nancy

(5) surprised to know the news

解説 1 「～するために」と動作の目的を表すときは、不定詞<to + 動詞の原形>を使う。3人称・単数・現在の文や過去の文でも to のあとの動詞は原形のまま。

(6) Why ~? の疑問文に「～するために」と目的を答えるときは、To ~. を使う。

2 to 以下は「～するために」という意味。

(5) (Taro came here) to help us. と考える。

3 感情を表す形容詞のあとにくる不定詞は「～して」と感情の原因や理由を表す。

(i)(4) be happy[glad] to ~は「～してうれしい」。

24 動名詞

演習問題 A

1 (1) watching (2) singing

(3) cleaning (4) cooking

(5) writing (6) running

2 (1) playing (2) teaching

(3) Studying[Learning]

(4) Talking[Speaking]

3 (1) to eat (2) walking (3) reading

(4) to join (5) to see (6) raining

解説 1 (2) 「～して楽しむ」 enjoy ~ing

(3) 「～し終える」 finish ~ing

(5) 「～するのをやめる」 stop ~ing

3 (1)(4)(5) want, decide, hope は不定詞を目的語にとる。

(2)(3)(6) enjoy, finish, stop は動名詞を目的語にとる。

15 助動詞(1) can / be able to

■助動詞は動詞の働きを助け、必ず〈助動詞＋動詞の原形〉の形になる。

1 can・could

- ① I **can** speak English. 私は英語を話すことができます。
- ② She **could** swim very well. 彼女はじょうずに泳ぐことができました。

① **can** 「～することができる」(可能)と「～してもよい」(許可)の意味を表す。
You **can** eat lunch here. (あなたはここで昼食を食べてもよいです。)
(許可)

否定文は〈主語＋**can't**[cannot]＋動詞の原形～〉、疑問文は〈**Can**＋主語＋動詞の原形～?〉の形になる。答えの文では can を用いる。

② **could** **can** の過去形で、「～することができた」の意味を表す。否定文や疑問文の作り方は can と同じ。
could not の短縮形は **couldn't**。

2 be able to

- ③ I **am able to** speak English. 私は英語を話すことができます。

③ **be able to** **can**(～することができる)と **be able to** は、ほぼ同じ意味を表す。

比較 He **can** speak French. (彼はフランス語を話すことができます。)
主語が何であっても形はかわらない

He **is able to** speak French. (彼はフランス語を話すことができます。)
主語にあわせる

be able to の文の否定文・疑問文の作り方は、be 動詞の文の場合と同じ。

注意 過去の文では **was**[**were**] **able to** を、未来の文では **will be able to** を用いる。

3 can の注意すべき用法

- ④ **Can I** use your pencil? あなたのえんぴつを使ってもいいですか。
- ⑤ **Can you** open the door? ドアを開けてくれませんか。
- ⑥ That story **can't** be true. あの話が本当であるはずがありません。

④ **Can I** ～? 「～してもいいですか」(許可)の意味を表す。

《許可するときの答え》 Sure. / OK. / All right. / Of course. など。

《許可しないときの答え》 I'm sorry, but you can't. など。このあとに理由を言うときよい。

⑤ **Can you** ～? 「～してくれませんか」(依頼)の意味を表す。**Could you** ～? はていねいな言い方になる。

《同意するときの答え》 Yes, I will. / Sure. / OK. / All right. / Of course. など。

《同意しないときの答え》 I'm sorry, but I can't. など。

⑥ **can't**[cannot] 「～のはずがない、～ではありえない」(推量・可能性)の意味を表すことがある。

中2英語

夏期講習スタート講座

中2英語 夏期講習スタート講座

会 員 番 号	氏 名
ク ラ ス	T E L

市進教育グループ